

第3学年総合的な学習の時間指導案

令和4年6月24日（金）第5校時

荒川区立第三峡田小学校

第3学年1組 30名

授業者 神山 沙也加

研究主題

未来につながる子どもの育成 ～SDGsの視点と関連させた授業づくり～



1 単元名 「伝えよう 自分のまち」

2 単元の目標

他の地域に住む人の地域自慢を聞き、自分たちが住んでいる地域の特徴について調べることで、主体的に活動することができるとともに、他の地域に住む人へ、住んでいる地域について伝える活動を通して、住んでいる地域のよさに気づき、地域への愛着をもつことができるようにする。

3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 住んでいる地域と他地域との、共通点や相違点を理解している。 ② 調べる内容を明確にし、メモや写真で記録するなど、適切に調査活動を実施している。	① 問題解決のために必要な情報を集める方法を考え、情報収集している。 ② 集めた情報を整理・分析し、伝える方法を考えている。 ③ 整理・分析して結果や自分の考えを、相手や目的に応じて、分かりやすく表現している。	① すすんで探究するとともに、それぞれの地域のよいところを見付けながら取り組もうとしている。

4 児童の実態と教材について

3年生から社会科の学習が始まり、「学校の周りの様子」という単元で、学校の周りの探検を2時間行った。大きな道にはマンションが多いことや、近くに都電の駅があることを理解することができた。その次の「荒川区の様子」という単元では、土地の高さや使われ方、交通や古くからあるものについて学習をした。しかし、地域のよいところを見付けそのよさを実感している児童は少ない。

今回は、青森県東北町立上北小学校との交流学習会で地域自慢を聞くことをきっかけに、荒川区についてさらに調べる。調べたことを基に他地域との違いに気付かせ、それをよさとして捉えさせたい。住んでいる地域について発表する場を設け、考えたり学んだりしたことを、分かりやすくまとめられるようにしたい。

以上のようにSDGs目標11「住み続けられるまちづくりを」の視点と関連させながら「未来につながる子」の育成をしていく。

児童に行った「未来につながるアンケート」の結果から、①「たくさんの人や自然と関わって生き

ている（関連SDGs目標15）」に肯定的に捉えている児童が約86%、②「友達と協力して生活している（関連SDGs目標16）」児童が約86%いることが分かっている。この結果を基に、児童の積極的な態度や友達との関わりを見取っていく。アンケート結果は次の通りである。

	①私は、たくさんの人や自然と関わって生きている。	②友達と協力して生活している。
そう思う	18人	16人
どちらかというと思う	8人	10人
どちらかというと思わない	2人	3
と思わない	1人	0

5 重視したいESDの視点との関連

ESDの視点	育てたい具体的な姿	関連評価
①批判的に考える力	・発表会に向けて、必要な情報を集める方法を考えたり、すすんで情報収集したり、伝えたいことを考えたりしている。	思①
②多面的、総合的に考える力	・荒川区と東北町との、共通点や相違点を理解している。	知①
④コミュニケーションを行う力	・発表することを考えながら、集めた情報を整理・分析して、分かりやすく表現しようとしている。	思②
⑤他者と協力する態度	・上北小学校の人の気持ちを考えて、伝える内容を決める。 ・同じ内容について調べる友達同士、協力して励ましながら活動する。	主③

これらの力・態度を高めることで、ESDの構成概念「多様性」「連携性」を身に付けさせたい。

6 本単元の研究主題にせまる手だて

(1) 批判的に考える力

- ・一人ひとりがすすんで情報収集できるように、何を使って、どのように調べたらよいか、理解させてから調べさせる。
- ・友達の意見を理解できるように、付箋や短冊などを使って視覚的に分かりやすくする。

(2) 多面的・総合的に考える力

- ・社会科で学習した荒川区の様子と東北町の様子を比較できるように、東北町の発表で使用した写真やプレゼンテーションソフトなどの資料を掲示する。
- ・みんなから出た意見を比較し、まとめやすくするために、付箋や短冊、思考ツールを活用する。

(3) コミュニケーションを行う力

- ・伝えたいことを選択・整理しやすくするために、3年生に伝えることを意識させる。相手意識をもたせるために、1回目の交流学习会の写真を教室に掲示する。

(4) 他者と協力する態度

- ・調べて分かったことの中から、相手の立場を考えて、伝える内容を選ぶことができるようにする。
- ・同じ内容について情報収集をするグループをつくり、児童が困った時に助け合える環境をつくる。

7 他教科等との関連

総合的な学習の時間「伝えよう みんなのまち」	
社会科	国語科
3年 学校の周りの様子 荒川区の様子	2年 インタビューをしよう

8 指導計画 (全21時間) 課：課題設定 情：情報収集 整：整理・分析 ま：まとめ・表現

次 (時数)	探究	課題 ○児童の主な学習活動	・予想される児童の反応	評価 規 準
第一次 探究Ⅰ (8)	課	○上北小学校との交流会について知る。	・東北町はどこ？ ・少しでも青森県について知りたい。	知①
	情	○青森県東北町について調べる。 ○上北小学校と交流会をする。	・有名な物を調べたい。 ・土地の高さ(標高)はどのくらいかな。 ・東北町についてよく分かった。	
	課	○上北小学校の方に、荒川区や東京都のよさについて伝える計画をたてる。	・自分たちも交流会で発表をしたい。 ・荒川区のどんなことを伝えよう。 ・荒川区について情報を集めよう。	
第二次 探究Ⅱ (8) 本時	情	○家の人にインタビューをする。 ○4年生にインタビューをする。 ○図書館の本を使って調べる。 (本時)	・家の方は、住みやすいと言っていたよ。 ・去年は、こんなことを伝えようとしていたって。 ・図書館で荒川の歴史を調べたい。	知② 思① 主①
	整	○集めた情報を整理・分析する。	・住みやすいと言っていたのは、電車が 多いからだ。 ・商店街にはいろいろなお店があるみたい。	
	ま	○まとめたものを伝え合う。	・荒川区について、伝えたいことがたくさん見付かった。	
	課	○まとめたものを振り返り、どのように発表をするか、計画を立てる。	・模造紙にまとめたい。 ・画用紙にまとめたい。	
第三次 交流学習会 (5)	整	○発表の準備をする。	・オンライン交流でも見やすくしよう。 ・大事なことだけ書こう。	思② 思③
	ま	○交流学習会をする。	・荒川区のよいところについて伝えられてよかった。	
	ま	○交流学習会を振り返り、学びをまとめる。	・荒川区にも東北町にも、それぞれよいところがあって、それを生かして生活している。	

9 本時（9 / 2 1時間）

(1) 本時の目標

お家の人の意見を基に、荒川区の特徴やよさについて考える。

(2) 本時の展開

	○学習活動 T教師の発問 C予想される児童の反応	□指導上の留意点 ☆評価規準【観点】(評価方法)
導入	<p>○本時のめあてを確認し、活動の見通しをもつ。</p> <p>T「みなさんがインタビューで聞いたことをみんなに話して、発表することを考えましょう。</p> <p>T「今日のめあては、どうですか。」</p> <p>C「おうちの人の意見をもとに、伝えることを考えよう。」</p>	<p>□前時までの学習の内容を確認する。</p>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>おうちの人の意見をもとに、伝えることを考えよう</p> </div>	
展開	<p>○インタビューしてきたことを、班で共有する。</p> <p>T「インタビューで聞いたことを、一つずつ付箋に書きましょう。付箋を見せながら、班の友達に伝えましょう。似ていることと違うことに分けながら聞きましょう。」</p> <p>C「家の周りの人がみんな親切だと言っていたよ。」</p> <p>C「バスや電車の便がよくて、仕事の時に助かるらしいよ。」</p> <p>○班でまとめたことを、全体で話し合う。</p> <p>T「伝えたいことを短ざくに書きましょう。」</p> <p>C「三河島菜が育てられていた。」</p> <p>T「短ざくを見て、よく分からないものはありますか。」</p> <p>T「似ているものや、つながりがあるものはありますか。」</p> <p>C「親切な人が多いことと、困った時に助けてくれる人がいることは似ています。」</p> <p>T「交流会で伝えたいことはどれですか。理由も教えてください。」</p> <p>C「荒川区のキャラクターについて伝えたいです。荒川区について覚えてもらえそうだからです。」</p> <p>C「都電について伝えたいです。めずらしいと思うからです。」</p>	<p>□内容がまとめやすいように、付箋に書かせる。</p> <p>□画用紙に貼りながら共有し、似ている意見を近くにまとめさせる。</p> <p>□話合いの内容が分かるように、思考ツールを使う。</p> <p>☆お家の人の意見を基に、荒川区の特徴やよさについて、伝えたいことを見付けながら取り組もうとしている。【主①】(発言、記述)</p>
終末	<p>○学習のまとめと振り返り</p> <p>T「今日は、おうちの人のインタビューから、交流会で伝えたいことを見付けられました。次回はどうですか。」</p> <p>C「まだ分からないことについて調べたい。」</p> <p>T「では、交流会に向けて、さらに調べていきましょう。」</p>	<p>□終末では、めあてに対して、自分たちができた取組について 振り返り、価値付けを行う。</p>